

コースコード：RH-CL110

税込価格：193,600円 (税抜価格：176,000円)

日数：4日間

受講対象者

プライベートクラウドの管理に興味もしくは責任を持つLinuxシステム管理者およびクラウド管理者

コース概要

システム管理者向けのこのコースでは、インストール、設定及び保守を含む、Red Hat OpenStackを使用したクラウドコンピューティング環境の実装方法を学習します。このコースは、RHCSA - Red Hat OpenStack - 認定試験 (EX210) の準備にも役立ちます。

目的

- ・ Red Hat OpenStackの各種設定や運用を理解する
- ・ OpenStack開発コミュニティの将来計画について理解を深める

アウトライン

- 1.Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform のアーキテクチャー
Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform の機能と用語の理解
- 2.Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform のインストール
packstack を使用した Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform のインストール
Horizon Web フロントエンドを使用したインスタンスの作成
- 3.Qpid メッセージブローカー
Qpid メッセージブローカーサービスのインストールと設定
認証と暗号化を使用した Qpid のセキュリティ保護
- 4.Keystone ID サービス
Keystone 認証サービスのインストール、設定、および使用
- 5.Swift オブジェクトストレージサービス
Swift オブジェクトストレージサービスのインストール、設定、および使用
- 6.Glance イメージサービス
Glance イメージサービスのインストールおよび使用
- 7.Cinder ブロックストレージサービス
Cinder ブロックストレージサービスのインストール
Cinder のボリュームの管理
- 8.ネットワーキングサービス
Red Hat Enterprise Linux OpenStack Platform
ネットワーキングサービスのインストール、設定、および管理
- 9.Nova コンピューティングおよびコントローラーサービス
Nova コンピューティングおよびコントローラーサービスのインストール
コマンドラインによるインスタンスのデプロイ
- 10.追加コンピューティングノードの実装
Nova コンピューティングノードの追加および削除方法の学習
- 11.Heat オーケストレーションサービス
Heat オーケストレーションサービスのインストール
事前設定テンプレートを使用したスタックの起動
- 12.ceilometer 測定サービス
ceilometer 測定サービスのインストールおよび管理



13. OpenStack開発コミュニティの今後の方向性
OpenStack の将来について